



別紙 入院診療計画書

胃の手術を受ける方へ

様

医師



看護師

経過 月日	手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2日目
目標	落ち着いて手術にのぞむことができる		手術後の安静を守ることができる 体の異常があれば看護師に知らせることができる	体の異常があれば看護師に知らせることができる 創部に問題がない	
治療 点滴 内服	眠前に下剤を内服します 	必要に応じて手術室入室前に点滴をします 	酸素マスク、心電図、血圧計が つきます 点滴をします 背中に痛み止めの管が入っています お腹に管が入っています 鼻から胃に管が入っています	回診があります 酸素マスク、心電図、血圧計がとれます	
				医師の許可があれば鼻に入っている管が 抜けます	
検査				採血、レントゲン検査があります	
安静度	院内歩行自由です		ベッド上安静です 寝返りはできます	体の状態をみて、徐々に動かしていきます	
食事	朝は普通のご飯です 昼は柔らかいご飯です 夜は流動食です	水分は（ ）時までです	絶飲食です	体の状態をみて、医師の許可があれば水分摂取や食事が再開となります	
	麻酔科の指示があれば水分、電解質補給のため経口補水液を飲みます（詳細は別紙を参照してください）				
清潔	おへその掃除をします その後シャワーをしてください	歯磨きをしてください	うがいはできます	体を拭きます	
排泄	制限はありません	手術室入室前に排尿を 済ませてください	手術中に尿の管が入ります		
説明 指導	入院中の流れについて看護師より説明 があります 同意書を提出してください 手術に必要な物品の確認を行います 薬剤師が薬の確認をします	手術室入室前に義歯、 コンタクト等貴金属を 外してください  ご家族は手術中、指定の場所 で待機してください	医師よりご家族に手術結果の説明が あります（看護師が案内します）  痛みや吐き気がある場合は看護師に 知らせてください	リハビリスタッフとリハビリを行います  術後疼痛管理チームが痛みの具合を確認し、薬の調整を するため回診します	

\*病状によって医師より安静度、清潔、退院日など変更する場合があります。

\*わからないことがありましたら、その都度看護師にお聞きください。

別紙 入院診療計画書  
胃の手術を受ける方へ

経過 月日	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8～10日目
目標	創部に問題がない 痛みが落ち着きリハビリが できる 問題なく食事摂取ができる	創部に問題がない 食後もお腹の症状がない 食事の摂り方を理解することができる		食事の摂り方を理解することができる 退院後の治療や注意事項がわかる		
治療 点滴 内服	回診があります					
	点滴をします	本日で点滴は終了です				
	お腹に管が入っています	医師の許可があればお腹に入っている管が抜けます				
検査	午前麻酔科医が背中 の痛み止めの管を抜きます				採血、レントゲン検査が あります	
	採血、レントゲン検査が あります	8時半に胃透視の検査が あります（看護師が案内し ます）			採血、レントゲン検査が あります	
安静度	院内歩行自由です					
食事	医師の指示で食事の形態を変更していきます 食事は少しずつ固くなっていきます			手術後は一度に食べられる量が少なくなるため、 5分粥となれば15時頃におやつを配ります		
						
清潔	希望に応じて体を拭いたり髪を洗います			医師の許可があればシャワーができます		
排泄	トイレに歩けるようなら尿の 管を抜きます	制限はありません				
説明 指導	食事はよく噛んでゆっくり食べてください 看護師より食事の摂り方について「胃の手術を受けられた方へ」のパン フレット			栄養士より退院後の食事の摂り方について説明があります		

\*病状によって医師より安静度、清潔、退院日など変更する場合があります。\*わからないことがありましたら、その都度看護師にお聞きください。  
以上につき、

年 月 日 主治医から説明を受けました。

患者署名：

代理人：

(続柄)

富山赤十字病院 2025.10月改訂